【日の出入り・月の出入り表】

2027年 3月

提供：国立天文台

日	日の出 時：分	南中時 時:分:秒	高度 度	日の入り 時：分	月の出 時：分	月の入り 時：分	月齢 12:00	備　　考
1	6:49	12:32:57	49.6	18:17	2:01	11:41	22.5	
2	6:48	12:32:45	49.9	18:18	2:53	12:33	23.5	
3	6:47	12:32:33	50.3	18:19	3:40	13:29	24.5	水星が留※4
4	6:45	12:32:20	50.7	18:20	4:21	14:27	25.5	
5	6:44	12:32:07	51.1	18:20	4:56	15:25	26.5	
6	6:43	12:31:54	51.5	18:21	5:28	16:23	27.5	啓蟄※1
7	6:42	12:31:40	51.9	18:22	5:56	17:21	28.5	水星が内合※2
8	6:41	12:31:26	52.3	18:23	6:23	18:19	29.5	新月
9	6:39	12:31:11	52.6	18:24	0.28	19:17	0.7	
10	6:38	12:30:56	53.0	18:24	7:16	20:17	1.7	
11	6:37	12:30:41	53.4	18:25	7:45	21:19	2.7	
12	6:36	12:30:25	53.8	18:26	8:18	22:24	3.7	
13	6:34	12:30:09	54.2	18:27	8:55	23:31	4.7	
14	6:33	12:29:53	54.6	18:27	9:40	--:--	5.7	
15	6:32	12:29:36	55.0	18:28	10:33	0:38	6.7	
16	6:30	12:29:19	55.4	18:29	11:35	1:42	7.7	上弦
17	6:29	12:29:02	55.8	18:30	12:43	2:40	8.7	水星が西方最大離角※5
18	6:28	12:28:45	56.2	18:30	13:55	3:30	9.7	彼岸の入り
19	6:26	12:28:28	56.6	18:31	15:06	4:13	10.7	
20	6:25	12:28:10	57.0	18:32	16:16	4:50	11.7	
21	6:24	12:27:52	57.4	18:32	17:24	5:23	12.7	春分の日、春分※3
22	6:23	12:27:34	57.8	18:33	18:30	5:53	13.7	満月
23	6:21	12:27:16	58.2	18:34	19:36	6:24	14.7	
24	6:20	12:26:58	58.6	18:35	20:41	0.29	15.7	
25	6:19	12:26:40	59.0	18:35	21:45	7:28	16.7	海王星が合※2
26	6:17	12:26:22	59.3	18:36	22:48	8:05	17.7	
27	6:16	12:26:04	59.7	18:37	23:49	8:46	18.7	
28	6:15	12:25:46	60.1	18:37	--:--	9:33	19.7	
29	6:13	12:25:28	60.5	18:38	0:44	10:24	20.7	
30	6:12	12:25:09	60.9	18:39	1:34	11:19	21.7	下弦
31	6:11	12:24:52	61.3	18:40	2:17	12:16	22.7	

＊　佐世保市（東経129.7156°，北緯33.1800°）を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

＊　月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1　二十四節季の一つ　意味：冬ごもりしていた地中の虫がはい出てくる。

※2　天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」という。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなる。（最も大きく見える）　内惑星（水星と金星）の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」がある。

※3　二十四節季の一つ　意味：春の彼岸の中日。太陽が真東から昇り、真西に沈む。昼と夜の長さはほぼ同じとな

※4　惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動（順行）していくように見えるが、時に東から西へ移動（逆行）することがある。その移動の方向が変わる瞬間を「留」という。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」となる。

※5　最大離角は、地球から見た太陽と内惑星（水星、金星）との角距離が最大となる瞬間である。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいりかく)という。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となる。